

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工観光課

1 施設の概要等

施設名	矢野温泉公園四季の里		
所在地	府中市上下町矢野		
設置目的	市民の保健及び休養に資するとともに観光事業の振興を図る		
施設・設備	あやめ園、キャンプ場、さくら園		
指定管理者	R6.4.1	～	R11.3.31 (有)ジャパンクリーンサービス

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	5,000 人	5,445 人	2,594 人	445 人	108.9 %
R5	5,445 人	4,728 人	-717 人	-717 人	86.8 %	
R6	6,800 人	3,167 人	-1,561 人	-3,633 人	46.5 %	
R7						
R8						

増減理由
「アスレチック」の木製支柱の腐食により、利用者の安全面を考慮した結果、使用を禁止とした。この影響により、常連のお客様の来場が厳しくなった。四季の里のキャンプ場には低学年が遊ぶ木製のアスレチックがあったことが、大きな集客ポイントになっている。キャンプ場利用客のほとんどが、小学校低学年以下の子どもをもつ若いファミリー層であり、子どもたちが体験できるスポットとして、アスレチックは、四季の里キャンプ場の大きな観光スポットとなっており、早急な整備が急がれる。

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	・来場者に個々にアンケートへの協力を依頼し回収している。 ・1か月単位で集計している。	・家族連れの単位でアンケートに回答いただいている。 ・ほとんどの利用が家族連れ、残りは友人グループ利用
	【主な意見】	【その対応状況】
	・アスレチックを楽しみにキャンプに来たが使用できないのが残念。早く修理してほしい。 ・ゴミの回収は有料でもいいのでお願いしたい。連泊する場合の生ごみの処理など、困っている。	・今後、府中市担当課に強く要望して参ります。 ・有料での対応は検討中です。

4 市の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告
	月報	○ 月次報告
	日報(必要随時)	○ 設備の破損故障等随時
管理運営会議	【特記事項等】	・利用状況や不具合修繕状況について報告・提案をし、意見交換協議を行った。
3回 会場 市役所		
現地調査 (実施月)	【指定管理者の意見】	・修繕発生時や運営に疑義が生じた都度に協議を実施している。
1月	○	【市の対応】 施設調査 週1回～2週に1回 現場ヒアリング 随時 あやめまつり前の施設点検 ワーケーション施設の点検等 設備の破損故障等が生じた場合は、現地調査を実施
2月	○	
3月	○	
4月	○	
5月	○	
6月	○	
7月	○	
8月	○	
9月	○	
10月	○	
11月	○	
12月	○	

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	25,570	838		R4	0	0
R5	25,732	162	R5	0	0		
R6	26,479	747	R6	3,569	3,569		
R7			R7				
R8			R8				

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	25,732	26,479	747	物価高騰・人件費高騰のため
	料金収入	0	3,569	3,569	R5は使用料のため未記載
	その他収入	1,328	1,372	44	
	計(A)	27,060	31,420	4,360	
	支出				
	人件費	16,921	21,838	4,917	観光協会出向者への給与支払い実績
	光熱水費	1,429	1,626	197	電気料等の単価高騰による増加
	設備等保守点検費	415	1,435	1,020	//
	清掃・警備費等	3,536	0	-3,536	清掃・警備は弊社で対応しているため
	施設維持修繕費	641	2,517	1,876	経年劣化による施設修繕費の増嵩
	事務局費	539	3,211	2,672	四季の里の運営に係る弊社職員経費
	その他支出	2,680	793	-1,887	イベント開催時の謝礼金等
計(B)	26,161	31,420	5,259		
収支①(A-B)	899	0	-899		
自主事業					
収入(C)	0	1,372	1,372	売上金を計上、支出は委託事業に包括	
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	0	1,372	1,372		
合計収支(①+②)	899	1,372	473		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場利用者は、小学生以下の子どもをもつ若いファミリー層が多く、自然環境の豊かなキャンプ場を選んで四季の里に来たが、子どもの遊び場が欲しいという声は強い。 ・年間、地域に続く伝統、「あやめまつり」や「かかしまつり」をうまく組み立てて、集客数の増加を図る。 ・上下町に伝わる伝統ある行事と連携し、第2会場として四季の里での独自イベントを用意し、機能を高めていくような提案を進める。 ・さくら、あやめ、もみじと、年間通じて集客出来る素材はあるので、それらをうまく組み立てて積極的に情報発信する。 ・地元上下町の小・中・高との連携を強化して、地域農業と暮らしとの関わりを体験学習の場として活用する。その際、集落法人の協力も得て、子どもや孫が動けば、必ず親や祖父母も動き、地域に大きなねりを創り、活力へと繋げていく仕組みをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB等の口コミの把握やWEBアンケート等を実施することで、幅広く利用者のニーズを把握することができ、利用者数の向上に向けた対策を的確に行うことができる。また、利用者からのご意見に対し迅速かつ丁寧に対応することで満足度向上に繋がるものとする。 ・計画どおり実施できなかった事業については、実施方法の見直し、代替案を計画すること。 ・現場との緊密な連携を図ること。 ・SNSなどを活用した情報発信の回数を増やす必要がある。 ・適切な人員配置を行うこと。 ・管理に必要な物品等については速やかに準備すること。 ・報告等を速やかに行うこと。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>四季の里キャンプ場を選んでいただける、他に無い強みを整理して施設の魅力を磨きます。次に、地域農業との関りを「営農法人」などと連携する中で、地域農産物を体験する(作る、食べる、販路を拡げる)という面で積極的な事業展開する。もちろん、その過程で、地元上下町内の小・中・高と連携し、教育の中で「地域の大切な農産物によって、人々の命が守られている」という点について、理解を高めていくよう考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容及び自主事業の計画的な実施。 ・地域産物加工販売施設と連動した取組。 ・あやめ園の計画的な管理と管理手法についての調査・研究。 ・事業の進捗管理。 ・利用者ニーズの正確な把握。 ・老朽化した設備等の計画的な修繕。